

第4期南相馬市スポーツ推進計画（令和6年度実績）評価結果 総括表

1 計画の目標について

№	計画の目標	担当課	現状値	R6			R9	達成状況の要因	「計画の目標」達成に向けたR8年度の課題
				目標値	実績値	達成状況	目標値		
例	週1回以上スポーツや運動をする成人の割合	スポーツ推進課	51.9% (R5.8)	54.0%	54.8%	達成	60.0%	下位の指標「スポーツ施設の利用者数」が向上し、「計画の目標」達成に寄与していると考えられるため。	健康や運動を意識し習慣付けするためには繰り返しの働きかけが重要であり、その効果は徐々に現れるものであることから、既存の事業に加えて「歩く」を取り入れた健康と運動・スポーツを関連づける事業展開を図る。

2 計画の目標達成に必要となる主な指標について

№	計画の目標達成に必要となる主な指標	担当課	現状値	R6			R9	達成状況の要因	「主な指標」の達成状況は「計画の目標」の達成に有効か	「主な指標」達成に向けたR8年度の対応方針
				目標値	実績値	達成状況	目標値			
1	スポーツ施設の利用者数	スポーツ推進課	328,967人 (R5.3)	343,000人	383,529人	達成	364,000人	市内のスポーツ団体等の継続的な利用に加え、各種スポーツ大会やスポーツ合宿支援事業の活用などにより、市外利用者が増加したため。	有効である	今後も子どもスポーツ活動促進事業（子ども減免）による子どもたちの施設利用の増加に加え、スポーツ合宿支援事業や交流・滞在型スポーツ大会の誘致によりスポーツ交流人口の拡大を図り、施設のさらなる利用促進につなげる。
2	市スポーツ・レクリエーションイベントへの参加者数	スポーツ推進課	5,943人 (R5.3)	6,000人	6,855人	達成	6,300人	各種広報活動により、マラソン大会の参加人数の増加に加え、生涯スポーツ教室の参加人数が大幅に増加したため。	有効である	イベント開催に当たり、市の広報紙やホームページ、SNS、南相馬チャンネル等複数の媒体を通じて広く発信することに加え、令和7年度に導入予定の健康ポイントシステムにおけるポイント付与事業とすることで、市民のスポーツイベントへの参加促進を図る。
3	南相馬市スポーツ協会、南相馬市レクリエーション協会への加入者数	スポーツ推進課	3,371人 (R5.3)	3,700人	3,414人	未達成	5,000人	加入者募集チラシの配布により加入促進を図ったが、高齢化などによる脱退により、加入者数が減少したため。	有効である	今後も加入者募集チラシによる加入促進や既存団体への各種支援を継続することで組織力の強化を図るとともに、未加入団体の掘り起こし、加入促進によりスポーツ団体の若返りを図る。

3 主な事業等について

№	事業名（一例）	担当課	評価指標	現状値 (R4)	R6			R9	この事業の「評価」は「上位の指標」の達成に有効か	R8年度に向けた事業の対応方針 (「評価」：B以下の場合のみ、右側の欄に改善策等を補足。)	
					目標値	実績値	評価	目標値			
1	健康スポーツ教室	スポーツ推進課	参加者数 (人)	368人	390人	400人	A	450人	有効である	現状の取組を維持する	-
2	スポーツ・レクリエーション祭	スポーツ推進課	参加者数 (人)	537人	560人	515人	B	650人	有効である	現状の取組を維持する	レクリエーション協会加盟団体だけでなく一般の市民の方にもより多く参観いただけるよう、広く周知を図りながら、現状の取組を維持する。
3	生涯スポーツ教室	スポーツ推進課	参加者数 (人)	383人	400人	1,123人	A	470人	有効である	現状の取組を維持する	-
4	野馬追の里健康マラソン大会・ウォーキング大会	スポーツ推進課	参加者数 (人)	2,817人	2,950人	3,007人	A	3,400人	有効である	現状の取組を維持する	-
5	子どもスポーツ活動促進事業	スポーツ推進課	利用者数 (人)	22,091人	23,200人	26,813人	A	26,900人	有効である	現状の取組を維持する	-

3 主な事業等について

№	事業名（一例）	担当課	評価指標	現状値（R4）	R6			R9	この事業の「評価」は「上位の指標」の達成に有効か	R8年度に向けた事業の対応方針 （「評価」：B以下の場合のみ、右側の欄に改善策等を補足。）	
					目標値	実績値	評価	目標値			
6	スポーツ少年団活性化事業助成金	スポーツ推進課	実施件数 (件)	3件	10件	7件	B	10件	有効である	現状の取組を維持する	本市のスポーツ少年団の強化育成につなげるため、現状の取組を維持する。
7	スポーツ少年団選手派遣事業補助金	スポーツ推進課	交付件数 (件)	9件	10件	25件	A	10件	有効である	現状の取組を維持する	-
8	小学校音楽・スポーツ大会等補助金	学校教育課	交付件数 (件)	18件	20件	18件	B	25件	有効である	現状の取組を維持する	県大会以上の大会参加費用は多額となることが多く、児童が活動に目標を持ち費用を心配せずに活動できるよう、現状の取組を維持する。
9	中学校音楽・スポーツ大会等補助金	学校教育課	交付件数 (件)	158件	160件	85件	C	166件	有効である	現状の取組を維持する	県大会以上の大会参加費用は多額となることが多く、生徒が活動に目標を持ち費用を心配せずに活動できるよう、現状の取組を維持する。
10	中学校部活動指導員の配置	学校教育課	配置人数 (人)	2人	6人	4人	C	8人	有効である	現状の取組を維持する	適切な練習時間や休養日の設定など、部活動の適正化を進め、教職員の働き方改革、部活動の質的な向上を図るため、地域展開に向け、現状の取組を維持する。
11	中学校部活動外部講師活用事業補助金	学校教育課	学校数(校)	4校	6校	5校	B	6校	有効である	現状の取組を維持する	専門的な知識や技能を有する外部講師の指導は教員からの要望が多く、生徒の部活動における競技力向上のため、現状の取組を維持する。
12	南相馬市総合スポーツ大会	スポーツ推進課	参加者数 (人)	1,838人	1,900人	1,850人	B	2,200人	有効である	現状の取組を維持する	各競技ごとの大会参加要件があるため、誰でも気軽に参加できるよう要件の緩和を図りながら、現状の取組を維持する。
13	老人クラブ活動等社会活動促進事業	長寿福祉課	参加者数 (人)	1,051人	2,300人	1,014人	D	2,300人	有効である	現状の取組を維持する	地域の見守りにおいて重要な老人クラブ活動の促進のため、現状の取組を維持する。
14	介護予防普及啓発事業	長寿福祉課	参加者数 (人)	63人	120人	113人	B	120人	有効である	現状の取組を維持する	高齢者自身が健康づくり・介護予防について理解し、自らの生活に役立てていただくため、現状の取組を維持する。
15	地域介護予防活動支援事業	長寿福祉課	参加者数 (人)	596人	560人	556人	B	650人	有効である	現状の取組を維持する	身近な地域で定期的に集まり、運動や交流を中心としたサロン活動を継続的に行うことでフレイル予防・認知症予防につなげるため、現状の取組を維持する。
16	筋力向上トレーニング事業	長寿福祉課	参加者数 (人)	134人	142人	139人	B	140人	有効である	現状の取組を維持する	地域の状況及び対象者の状態に応じた事業展開を図りながら、現状の取組を維持する。
17	おひさまといっしょに事業補助金	社会福祉課	参加者数 (人)	(中止)	220人	192人	B	220人	有効である	現状の取組を維持する	障がい児・者が運動等を通じて地域の方と交流する機会を創出し、地域での生活の自立促進につなげるため、現状の取組を維持する。
18	みらい元気挑戦スポーツ招致事業	スポーツ推進課	観戦回数 (回)	1回	1回	2回	A	1回	有効である	現状の取組を維持する	-

3 主な事業等について

№	事業名（一例）	担当課	評価指標	現状値（R4）	R6			R9	この事業の「評価」は「上位の指標」の達成に有効か	R8年度に向けた事業の対応方針（「評価」：B以下の場合のみ、右側の欄に改善策等を補足。）	
					目標値	実績値	評価	目標値			
19	トップアスリート教室	スポーツ推進課	参加者数（人）	89人	93人	80人	B	110人	有効である	現状の取組を維持する	滞在型スポーツ大会の開催に合わせトップアスリート教室を開催することで、本市の子どもたちの競技力向上と図るとともに、地域経済の活性化につなげるため、現状の取組を維持する。
20	スポーツボランティア	コミュニティ推進課	参加人数（人）	349人	380人	412人	A	410人	有効である	現状の取組を維持する	-
21	スポーツバイキング（スポーツ少年団員の確保）	スポーツ推進課	参加者数（人）	198人	200人	198人	B	210人	有効である	現状の取組を維持する	今後より多くのスポーツ少年団員に参加いただけるよう事業内容の充実を図りながら、現状の取組を維持する。
22	競技力向上対策助成事業	スポーツ推進課	実施件数（件）	9件	10件	8件	B	10件	有効である	現状の取組を維持する	今後より多くのスポーツ協会加盟団体に事業を活用いただけるよう事業内容の周知を図りながら、現状の取組を維持する。
23	スポーツ大会等出場激励金	スポーツ推進課	交付人数（人）	211人	200人	192人	B	220人	有効である	現状の取組を維持する	上位大会への参加を奨励することで、市民がより高い目標を目指し、技術の習得など競技力の向上につなげるため、現状の取組を維持する。
24	スポーツ振興助成事業	スポーツ推進課	実施件数（件）	6件	10件	8件	B	10件	有効である	現状の取組を維持する	今後より多くのスポーツ協会加盟団体に事業を活用いただけるよう事業内容の周知を図りながら、現状の取組を維持する。
25	スポーツ少年団スタートコーチ養成講習会	スポーツ推進課	取得者数（人）	12人	20人	15人	C	20人	有効である	現状の取組を維持する	今後より多くの指導者の確保・育成に向け、事業内容の周知を図りながら、現状の取組を維持する。
26	スポーツ推進委員資質向上研修会派遣	スポーツ推進課	派遣回数（回）	4回	4回	5回	A	4回	有効である	現状の取組を維持する	-
27	スポーツ合宿支援事業補助金	スポーツ推進課	スポーツ交流人口（人）	—	2,000人	4,467人	A	2,300人	有効である	現状の取組を維持する	-
28	交流・滞在型スポーツ事業補助金	スポーツ推進課	スポーツ交流人口（人）	144人	150人	131人	B	180人	有効である	現状の取組を維持する	滞在型スポーツ大会の開催に合わせトップアスリート教室を開催することで、本市の子どもたちの競技力向上と図るとともに、地域経済の活性化につなげるため、現状の取組を維持する。
29	交流・滞在型スポーツ支援事業	スポーツ推進課	滞在型スポーツ大会開催数（件）	3件	4件	6件	A	3件	有効である	現状の取組を維持する	-
30	南相馬市・杉並区スポーツ交流事業補助金	スポーツ推進課	実施回数（回）	2回	6回	5回	B	6回	有効である	改善しながら継続する	対象とする交流事業を相互交流が実施されている事業に限定するなど、交流事業の在り方を検討し、改善しながら継続する。
31	坂東市将門ハーフマラソン大会参加事業補助金	スポーツ推進課	参加者数（人）	25人	50人	45人	B	50人	有効である	現状の取組を維持する	子どもたちを中心としたスポーツ交流機会を契機にスポーツ交流人口の拡大につなげるため、現状の取組を維持する。

評価全体の総括	
令和 6 年度 of 取組全体の評価	あらゆる世代でのスポーツを推進するための施策について、新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後は、行動制限の緩和に加え、各種スポーツ大会を開催したことやスポーツ合宿支援事業の利用の範囲を拡大したこと、広報活動の工夫により、野馬追の里健康マラソン大会の参加者が増えたことなどにより、スポーツ施設利用者数やスポーツ・レクリエーションへの参加者が増加し、目標を達成することができた。 一方、スポーツ協会やレクリエーション協会への加入者においては、高齢化等による脱退による加入者の減少に対応することができなかった。
令和 8 年度 of 取組方針 主な取組例の考え方	気軽にスポーツや運動する機会を提供するため、各種スポーツ大会やイベント開催を工夫することによる引き込みや、スポーツ施設の年間利用料金の周知などにより、スポーツ施設利用者数の拡大を図る。 また、令和 7 年度には健康ポイントアプリを導入し、「歩く」をきっかけとした“運動と健康”を意識できるイベントとインセンティブにより、施設利用者数の拡大に結び付ける。 なお、高齢化が進む中で、高齢者等の脱退によりスポーツ協会及びレクリエーション協会等の弱体化や後継者育成が課題となっていることから、若返りを図るため、未加入団体の掘り起こしや新規加入募集チラシによる加入促進の継続等の取組を行っていく。